

達成度：H29.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

健康福祉課の目標（平成 28 年度）自己評価書

健康福祉課長 河島 幸弘

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 児童福祉の推進（人権推進室）</p> <p>関係機関連携、情報の共有を図り、児童虐待の防止に努めます。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・広報ニューしすいで啓発するとともに、国や県から配付された啓発冊子を活用し広く人権啓発をしました。 ・酒々井小学校及び大室台小学校児童に人権ポスターの作成を依頼し、小学校6年生が作成した人権ポスター184点を中央公民館で展示し啓発を行いました。 ・人権ポスターの中から優秀作品2点を啓発ポスターとして印刷し、町内公共施設等に掲示し啓発を行いました。 ・児童虐待及びDV対策については関係機関（警察・印旛健康福祉センター・女性サポートセンター等）と連携し、被害者を保護する態勢を整えました。 <p>また、内容が年々複雑化していることから、さらに関係課とも連携を図り、相談者に対し適切な支援を行っていきます。</p>
<p>2 隣保館の運営（人権推進室）</p> <p>福祉の向上や人権啓発、住民交流の拠点として地域に密着したコミュニティセンターとして様々な事業を展開し、人権・同和問題の解決を図ります。</p> <p>隣保館まつり：地域住民と隣保館利用者の交流を図る。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流事業 <p>各種教室を開催し、参加者相互の交流を図り、生活の中に潤いと作る喜びや感動を通して交流を図りました。</p> <p>親子ふれあい教室では親子のスキンシップと参加した</p>

<p>地域交流事業：高齢者音楽健康教室、フラワーアレンジメント教室、親子ふれあい教室、料理教室</p> <p>啓発事業：人権ふれあい講座</p> <p>隣保館デイサービス事業：生きがいデイサービス（福祉班と連携した介護予防事業）</p>		<p>親子間の交流を図りました。</p> <p>料理教室では、季節の食材を取り入れて料理の応用を学ぶとともに地域交流を促進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発事業 ふれあい講座では、人権週間に合わせ生涯学習課と合同で開催し、人権意識の高揚を図りました。 ・特別事業 生きがいデイサービス事業では、隣保館を利用し、創作・軽作業、日常生活訓練等を行うことにより高齢者等の自立の助長を図ることができました。 ・第4回隣保館まつりでは、実行委員会を母体として開催し、各団体の協力を得ながら、地域住民と隣保館利用者の交流が図られ、盛大に開催することができました。
<p>3 社会福祉の推進（福祉班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会との連携に取り組みます。 	<p>4</p>	<p>社会福祉協議会と連携を図り、要支援者に対し、適切な支援に努めました。</p> <p>また、社会福祉協議会と共同で酒々井町地域福祉計画・活動計画を策定し、各種施策を推進しています。</p> <p>2月に地域福祉フォーラムを開催し、推進状況の報告と地域活動の発表などを実施しました。</p>
<p>4 障害者福祉の推進（福祉班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者（身体・知的・精神）福祉に関する相談支援体制の充実を図ります。 	<p>4</p>	<p>福祉相談は、内容に応じて、適切な制度、サービスにつなげることが重要であり、さらに、総合的な福祉の知識と判断が必要となることから、福祉生活専門相談員として、実務経験がある有資格者を窓口配置し相談体制の充実を図りました。</p>

<p>5 高齢者福祉の推進（福祉班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬老事業（老人福祉大会、80歳の青年式）を開催し、高齢者に敬意を表します。 ・緊急災害時に備えての対応（緊急通報装置貸与事業、災害時要援護者名簿登録事業、高齢者見守りネットワーク事業）を実施します。 	<p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老事業 <ul style="list-style-type: none"> 老人福祉大会は、対象者の増加により2部制で開催しました。また、運営協力者からの意見を参考に課題等の解決に努めました。 80歳の青年式は、80歳のお祝いと80歳以上で医療機関を受診していない方の表彰を行い、健康の秘訣など生きがいつくりの場として開催しました。 ・緊急通報装置貸与事業 <ul style="list-style-type: none"> 65歳以上のひとり暮らし高齢者に緊急通報装置を貸与し、急病やケガ等の緊急時の対応や必要に応じて、協力員による安否確認を行いました。 平成29年3月現在 58台貸与 ・災害時要援護者名簿登録制度 <ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者名簿を活用し、災害時に備え、75歳以上のひとり暮らし高齢者などの見守り活動を実施しました。 また、酒々井消防署と連携して、救急活動時に登録名簿の運用が開始されました。 平成29年3月現在 登録数209人 ・高齢者見守りネットワーク事業 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者が住み慣れた地域社会で安心して生活できることを目的に、町は高齢者と接することの多い民間事業者と連携し「さりげない見守り」の中で異変や支援に必要な高齢者の早期発見に努めました。
--	----------	--

<p>6 介護保険事業の推進（介護保険班）</p> <p>介護予防、日常生活支援総合事業への移行準備、在宅医療・介護連携、認知症施策、生活支援サービスの実施に向けた調査・検討を行います。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月からの介護予防・日常生活支援総合事業の実施に向け、事業所に対して説明会を開催しました。 在宅医療・介護連携、認知症施策、生活支援サービスについては、平成30年度からの実施に向け、研修会の参加や情報収集に努めました。
<p>7 特定保健指導（地域保健班）</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定健診の結果に基づき、保健指導の対象者を選定し、その必要性ごとに「情報提供」、「動機づけ支援」、「積極的支援」を行い、実施率の向上に努めます。また、特定健診の結果、要医療となった方を対象に電話・訪問による受診状況の確認、さらに、必要な方には、受診勧奨を行います。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診の結果に基づき対象者を選定し、保健指導を行い実施率向上に努めました。 <p>特定保健指導 実施率 38.7% (H27年 29.7%)</p> <p>動機づけ支援 実施率 40.0% (38人)</p> <p>積極的支援 実施率 34.5% (10人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定健診の結果、要医療となった方に地区担当保健師が電話・訪問による受診状況の確認を行うなど、受診勧奨に努めました。 <p>訪問指導 11人</p>
<p>8 介護予防事業の推進（健康づくり推進班）</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰もができる、しすいオリジナルの体操「しすいハート体操」を制作し、住民と協働して地域に普及していきます。 介護予防及び健康づくりのための知識や運動の方法を身につけ、地域の中で介護予防活動を行う自主グループの立ち上げやグループ運営などを行うリーダー養成講座を実施し、身近な場所で介護予防が実践できるように支援します。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 「しすいハート体操」を制作しました。 「しすいハート体操」を老人福祉大会、80歳の青年式で発表し、さらに、教室を開催するなど普及に努めました。 <p>「しすいハート体操」教室 1コース5回2コース開催 参加者 39名</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護予防及び健康づくりの知識や運動を身につけ、地域の中で健康づくりを行う自主グループの立ち上げやグループ運営などを行うリーダー養成講座を実施し、介護予防が実践できるように支援に努めました。 <p>講座1コース4回 1回開催 参加者13名</p>

<p>チャレンジ目標</p> <p>1 人権教室の開催（人権推進室）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業として、「人権教室」を実施します。小中学校へ出向き、「人権を尊重し、友達を思いやる大切さ」をより感じてもらえるよう、人権擁護委員会を中心に実施します。 <p>2 災害時要援護者名簿登録制度の推進（福祉班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者名簿登録制度を推進していくため、新たな登録者を回覧等で募集するとともに、平成26年度登録情報の更新も併せて行います。 <p>3 認知症支援策の推進（介護保険班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、本人や家族を見守り、支援するサービス基盤の充実を図るため、平成26年度に町職員を対象に認知症サポーター養成講座を実施したところですが、対象を中学生にも広げ、認知症に関する知識のさらなる普及・啓発を図ります。 <p>4 ウォーキング講座の開催（地域保健班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防のための継続した運動習慣を身につけるため、ウォーキング講座の開催及びウォーキングカードを作成します。 <p>5 介護予防事業の推進（健康づくり推進班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動している団体を対象に、出前健康講座（地域介護予防活動支援事業）を実施し、高齢者一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援します。 	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員会による「人権教室」を酒々井小学校で開催しました。 ・新たな高齢者世帯等の登録者を発掘・登録するとともに、随時、情報の更新をしました。 ・新規採用職員を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。平成28年5月8日開催、13人が受講しました。 ・運動習慣を身につけるため、ウォーキング講座を開催しました。ウォーキング教室 31人参加 ・ウォーキングカード（スタンプカード）を作成し、住民主体で行っているウォーキングの会と協力し、活用できました。91枚配布 ・地域で活動している団体を対象に出前健康講座を行い、高齢者一人ひとりの生きがいや自己実現の取組ができるよう支援に努めました。 出前健康講座 12回 778人参加
---	--	---

